

# 熊本大学ゆかりの樹木・半導体廃材等を使ったアート制作

所属・氏名

熊本大学教育学研究科・松永拓己



## 1. 教育・研究の概要

本プロジェクトは、熊本大学のキャンパス内で発生した廃木材（倒木や剪定枝など）と、その役割を終えた使用済み半導体素材を再利用し、新たな価値を付与する「アップサイクル・アクセサリー グッズ」等の開発・制作・展開を目的とした取り組みです。自然の温もりを感じさせる「木」と、人類の英知の結晶である「半導体」という、対極的な二つの素材を融合させることで、新たな魅力を創造し、芸術教育の枠を超えた学際的な研究・実践を展開しています。

## 2. 教育・研究の目的

本教育・研究の根幹には、資源の有限性を認識し、廃棄物に新たな生命を吹き込むことを目的としています。また、本プロジェクトは大学の知見を社会に還元する重要な接点でもあります。最先端の半導体技術と熊大の自然素材を組み合わせた「商品」等を通じて、大学の教育・研究成果を広く一般に発信し、持続可能な社会の実現に向けたメッセージを伝えることを目指しています。

## 3. 今年度実施した教育・研究

### ・本年度中の教育・研究の取組

HP:[https://nanohub.t.u-tokyo.ac.jp/kumadai\\_connect/semico/](https://nanohub.t.u-tokyo.ac.jp/kumadai_connect/semico/)

熊本大学内に設置された東京大学分室との緊密な連携のもと、私たちは半導体の持つ無機質で近未来的な輝きと、天然木の温かみ溢れる有機的な質感を融合させた、唯一無二のSDGsアクセサリーを開発いたしました。ネックレス、イヤリング、ヘアピン、指輪、ネクタイピン他、多岐にわたるデザインを展開し、熊本大学教育学部美術科の学生達が制作を担っています。本商品は、令和8年2月9日より熊本大学生協同組合売店にて販売開始ほか、蔦屋書店熊本三年坂、くまもとSDGsミライパーク（熊本空港西側隣接）、熊本市現代美術館など、複数の拠点で展開し、また、2月21日ワークショップも開催しております。他には、くまもとSDGsミライパークでは「わたしのミッション みんなのミッション」として言葉×作品によるアートウォールにも取り組んでおります。

### ・上記の取組によって生まれた成果（SDGs達成へどのように貢献するのか）

#### 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

半導体という先端技術素材を文化・芸術の領域に展開し、新たな価値を創造しています。

#### 目標12「つくる責任 つかう責任」

廃棄される廃木材や半導体素材をアップサイクルすることで、資源の有効活用と廃棄物削減を実践しています。

#### 目標15「陸の豊かさも守ろう」

熊本大学の樹木資源を有効活用し、自然への関心を高めます。

#### 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

熊本大学と東京大学分室と学生達、アート参加者等協力してより広く商品展開、参加型ワークショップへ展開推進しています。

### ・今後の展望

開発して終わりではなく、これを起点とした持続可能なエコシステムの構築を目指します。

**地域ブランドの確立:** 熊本を訪れる観光客やビジネス客向けの「知的な土産品」としての展開。

**教育への波及:** ワークショップ・展示等を通じて、次世代を担う子どもたちに半導体産業と環境問題への興味を喚起。

**素材の多様化:** 熊本大学内の他の樹種や、異なる製造工程の端材（リードフレーム等）を活用したラインナップの拡充。

